

時期	単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
1 ・ 2 年 生 2 学 期 (体 育)	A 体づくりの運動遊び	知識・技能	(ア)体ほぐしの運動遊びで、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わりあったりできる。 (イ)多様な動きをつくる運動遊びで、身体のバランスをとる動き、身体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができる。	観察	操作しやすい用具を用いた運動遊び 集団による運動遊び 一定の速さでのかけ足 用具を投げる、捕るなどの動きで構成される運動遊び
		思考・判断・表現	体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、場の安全に気をつけたりできる。		
	B 器械・器具を使っでの運動遊び	知識・技能	(イ)マットを使った運動遊びで、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすることができる。 (ウ)鉄棒を使った運動遊びで、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりがりや易しい回転をすることができる。 (エ)跳び箱を使った運動遊びで、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすることができる。	観察 試技	ジャングルジム、雲梯、登り棒、肋木、平均台などを使った運動遊び ふとん干し、跳びあがり、跳び下り、易しい回転 ゆりかご、前転がりなど うさぎ跳び、かえるのあしうち、かえるの逆立ちなど 踏み越し跳び 支持でのまたぎ乗り・またぎ下り
		思考・判断・表現	器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりできる。		
	C 走・跳の運動遊び	知識・技能	(ア)走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりできる。 (イ)跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりできる。	観察 試技	低い障害物を用いてのリレー遊び ケンパー跳び遊び ゴム跳び遊び
		思考・判断・表現	走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気をつけたりできる。		

1 ・ 2 年 生 2 学 期 (体 育)	E ゲーム	知識・技能	(ア)ボールゲームで、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームができる。 (イ)鬼遊びで、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどを行うことができる。	観察	相手コートにボールを投げ入れる ゲーム 一人鬼、手つなぎ鬼、子増やし鬼など
		思考・判断・表現	簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりできる。		
	E ゲーム	知識・技能	(ア)ボールゲームで、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームができる。 (イ)鬼遊びで、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどを行うことができる。	観察	相手コートにボールを投げ入れる ゲーム 一人鬼、手つなぎ鬼、子増やし鬼など
		思考・判断・表現	簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりできる。		

時期	単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
3 ・ 4 年 2 学 期 (体 育)	B 器械運動	知識・技能	(ア)マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技をすることができる。 (イ)鉄棒運動では、支持系の基本的な技をすることができる。 (ウ)跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。	試技 ワークシート（思・主）	鉄棒（逆上がり・前回り・抱え込みまわり） マット運動（前転・後転・開脚前転・開脚後転・壁倒立） 跳び箱（開脚跳び・閉脚跳び・台上前転）
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。		
	F 表現運動 3年	知識・技能	(ア)表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。 (イ)リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。。	観察	リズムダンス
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、誰とも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができる。		
	C 走・跳の運動	知識・技能	(ウ)幅跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 (エ)高跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶことができる。	ワークシート（思・主） 試技 観察	3～5歩の短い助走からの幅跳び 3～5歩の短い助走からの高跳び
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。		

3
・
4
年
2
学
期
(
体
育
)

E ゲーム	知識・技能	(ア)ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。 (ウ)ベースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをすることができる。	ワークシート（思・主） 基本的な動作ができるか 状況に応じて動くことができるか	ベースボール型 （攻める側がボールを打って行う易しいゲーム） 陣地を取り合うゲーム （フラッグフットボールを基にした易しいゲーム）
	思考・判断・表現	規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。。		
G 保健 3年	知識・技能	(ア)心や体の調子が良いなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることを理解できる。 (イ)毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であることを理解できる。	テスト	ワークシート ふり返り
	思考・判断・表現	健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	健康な生活、一日の生活の仕方についての理解を深め、健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現しようとしている。。		
G 保健 4年	知識・技能	(イ)体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えることを理解できる。 (ウ)体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であることを理解できる。	テスト	ワークシート ふり返り
	思考・判断・表現	体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	体の発育・発達、思春期の体の変化についての理解を深め、体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現しようとしている。。		

時期	単元・領域名	観点	単元の評価規準	評価方法	学習活動
3 ・ 4 年 生 2 学 期 (体 育)	A 体づくり運動	知識・技能	(イ)体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。		人や物の動き、場の状況に対応した運動 用具などを用いた運動 人や物の重さなどを用いた運動 時間やコースを決めて行う全身運動
		思考・判断・表現	自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。		
	B 器械運動	知識・技能	(ア)マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。 (ウ)跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができる。	発表・発言 ワークシート	マット（ロンダート・3転倒立からの連続技） 跳び箱（頭はね跳び ・これまでに学習した基本的な技を組み合わせた技）
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		
		主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができる。		
C 陸上運動	知識・技能	(イ)ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。	記録 観察 ワークシート	40m～60m程度の短距離走 いろいろな距離でのリレー	
	思考・判断・表現	自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。			

5・6年生
2学期（体育）

E ポール運動	知識・技能	(ウ)ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをすることができる。	観察	ベースボール型ゲーム (Tボールを基にした簡易化されたゲーム)
	思考・判断・表現	ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができる。		
F 表現運動	知識・技能	(ア)表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。 (イ)フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。	踊り方 大切なポイントを押さえているか	ダンス
	思考・判断・表現	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができる。		
G 保健 5年	知識・技能	(ア)心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすることができる。 (イ)心と体には、密接な関係があることを理解できる。 (ウ)不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを理解できる。	テスト	ワークシート ふり返り
	思考・判断・表現	心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	心の発達、心と体との密接な関係、不安や悩みへの対処についての理解を深め、心の健康について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現しようとしている。		
G 保健 6年	知識・技能	(エ)喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることを理解できる。 (オ)地域では、保健に関わる様々な活動が行われていることを理解できる。	テスト	ワークシート ふり返り
	思考・判断・表現	病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができる。		
	主体的に学習に取り組む態度	喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、地域の様々な保健活動の取組についての理解を深め、病気の予防について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現しようとしている。		